

様式第1号（第8条、第9条関係）



事業者行動計画書（変更計画書）

平成29年 7月 21日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

宮城県仙台市青葉区五橋2-12-1

氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）

アイリスオーヤマ株式会社

代表取締役社長 大山 健太郎

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例【第20条第3項・第20条第4項
第22条第1項・第22条第2項において準用する同条例第20条第4

項】の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあつては、名称および代表者の氏名）	アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長 大山 健太郎
事業者の住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）	宮城県仙台市青葉区五橋2-12-1

1 事業所の概要

事業所の名称	アイリスオーヤマ株式会社 米原工場		
事業所の所在地	滋賀県米原市三吉三田 701		
主たる事業	細分類番号	1 8 9 7	プラスチック製品の製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者		

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

1 計画期間

計画期間	平成29年度～ 平成34年度
------	----------------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

アイリスオーヤマ㈱は生活者の目線を第一に考える「ユーザーイン思想」で家庭の不満や問題を解決するホームソリューションをおこなってきましたが、東日本大震災をきっかけに、現在は日本の課題を解決する JAPAN ソリューションに積極的にチャレンジしています。

その事業活動を通し以下の環境方針を定めました。

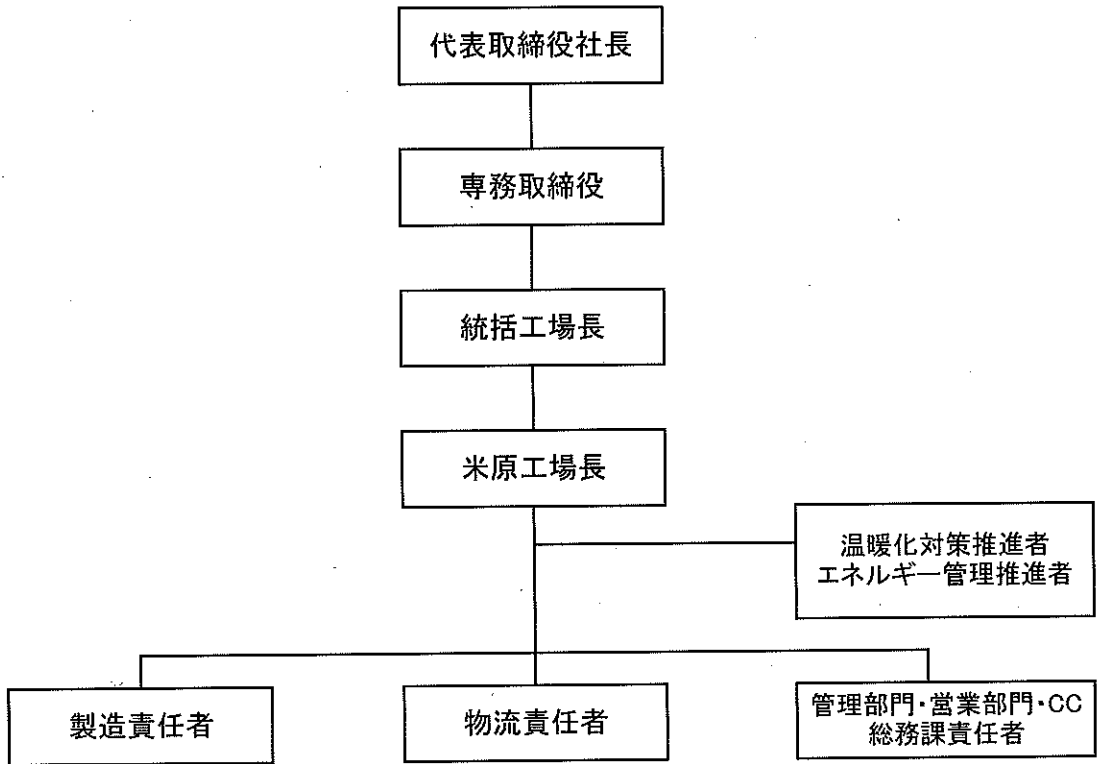
1. 事業活動や製品・サービスに関する環境影響を的確に認識して、環境目的及び目標を設定し、経営者と全従業員が一体となり技術的・経済的に可能な範囲で環境に関する継続的改善を図ります。
2. 環境に関連する法律・規則・協定を遵守いたします。また、汚染の予防を図るために社内基準を設定し、積極的に環境保全に取り組めます。
3. 商品開発にあたり、研究・開発・設計の段階で製品アセスメントを行い、環境負荷低減に努めます。また省エネルギー商品の開発を積極的に推進します。
4. 省資源、省エネルギーを目指し、効率的な業務改善に取り組み、環境改善活動を推進します。
5. 廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクルに取り組み、循環型社会の構築に向け努力します。
6. 本方針を全従業員に周知徹底し、環境意識の向上を図ります。また地域の環境活動に積極的に参加しエコ社会の実現を目指します。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

別紙のとおり

備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

別紙



(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入と使用電力量削減

- 2001年竣工時より工場各成型機にそのデータ容量に応じたコンデンサーを各電源盤内に設けモータの発停と共にオンオフ制御させ効率を改善。
- 成型機のヒータ部を断熱材で覆い放熱を抑えると共にヒータ電力の削減。
- 2005年インバータコンプレッサー導入に伴い、運転圧力の見直しエア漏れを対策し使用電力量を削減。
- 2009年工場水銀灯 64 箇所を 700w⇒360w へ交換。
- 自動倉庫水銀灯 120 箇所から 60 箇所に間引き電力削減に繋げる。
- 2012年より工場水銀灯 360w64 箇所を LED65w へ交換。工場、配送棟の 40w 蛍光灯 (1314 本) を LED へ交換。
- 2014～2015年に油圧成型機から省エネ型電動成型機に入替え (16台)
- 2016年度に油圧成型機から省エネ型電動成型機に入替え (3台 合計 19台)

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	事業所内 LED 照明を高効率タイプに交換	H29 年度～ H34 年度
2	設備導入対策	駐車場及び外灯の LED 化	H29 年度～ H34 年度
3	設備導入対策	製造付帯設備（チラー・コンプレッサー）を省エネ機器に入替え	H29 年度～ H34 年度
4	設備導入対策	エアコンを省エネ機器に入替え	H29 年度～ H34 年度
5	運用対策	ダンボールのリサイクル	H29 年度～ H34 年度
6	運用対策	廃プラスチックのリサイクル	H29 年度～ H34 年度
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

エネルギー使用に係る原単位において毎年 1%以上改善

$$\text{原単価} = \frac{\text{エネルギー使用量（原油換算キロリットル）}}{\text{生産数量又は建築延べ床面積その他のエネルギーの使用量と密接な関係をもつ値（原料換算 1000 トン）}}$$

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する
取組

(1) 取組の内容等

一般家庭向け、法人向けLED照明、省エネ家電の生産、販売を通じた低炭素社会づくりへの貢献。

一般家庭では人や周囲の照度を感知して自動で点灯・消灯するセンサー付タイプのLED照明、冷暖房効率を上げる空気循環機や、人感センサー付きの冷暖房器具など豊富にラインアップし、使用するだけで大きな節電効果があります。

法人向けでは直管形LEDランプや高天井用LED照明をはじめ、店舗照明や屋外照明など種類も豊富にそろえ、製造・販売を通じてより多くの方に使用していただくことにより低炭素社会づくりを推進していきます。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

省エネ機器を導入することにより大幅な節電が望めます。

総合照明メーカーでもある当社が、お客様のご要望に応えられるよう様々な商品開発をおこない、より多くのお客様に導入していただけるよう邁進してまいります。